

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2024年3月12日

下水サーベイランス

札幌市

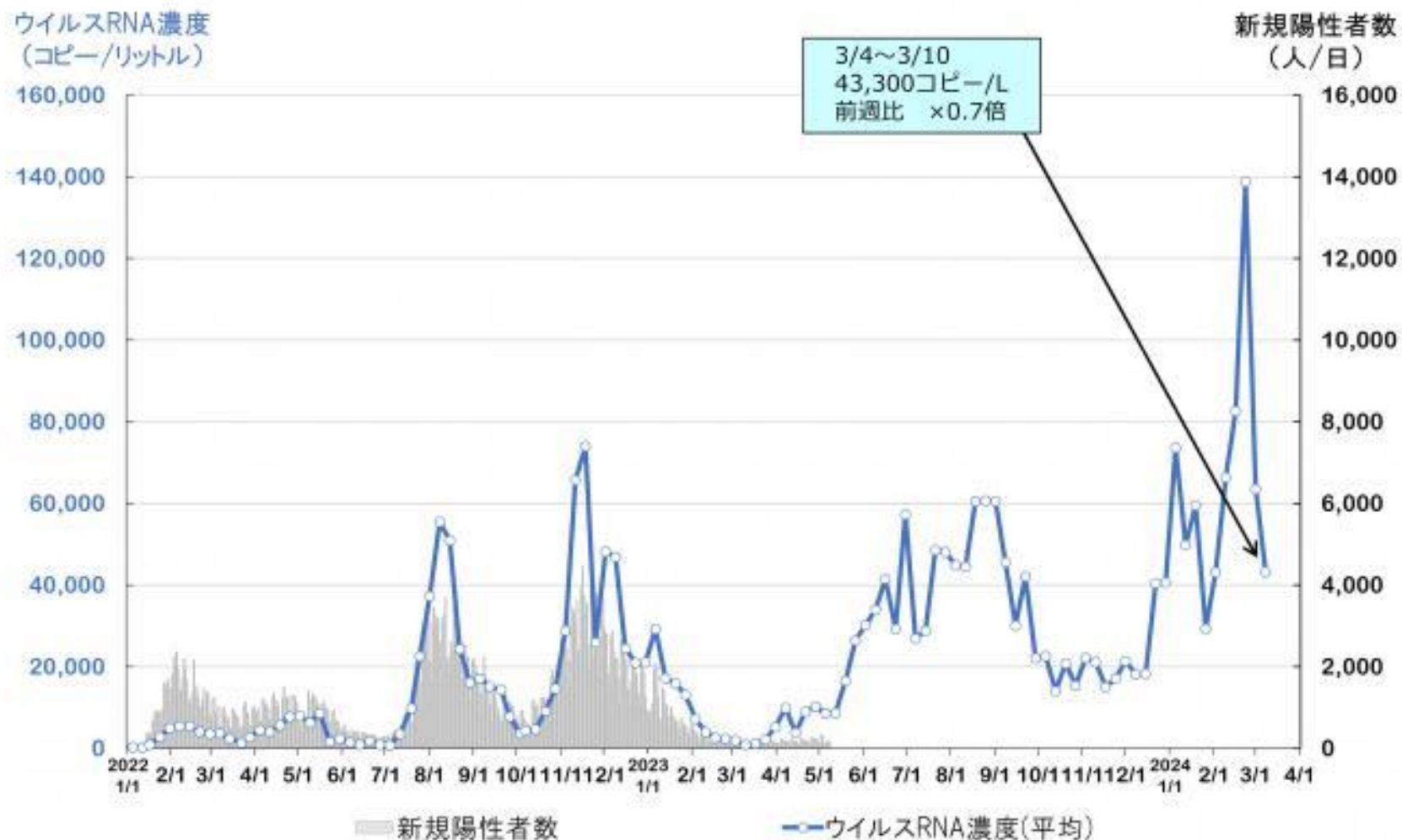
宇部（山口県）

【松崎雑感】

下水サーベイランスは、1～2例の感染症が起きても、感知できる能力を持っています。アメリカでは、下水サーベイランスでポリオの発症が検知され、早期予防対策を行うことが出来ました。Mpox（サル痘）も同様に下水モニタリングで見つかりました。「事件は下水を調べたならわかる！」が感染症疫学のスローガンです。

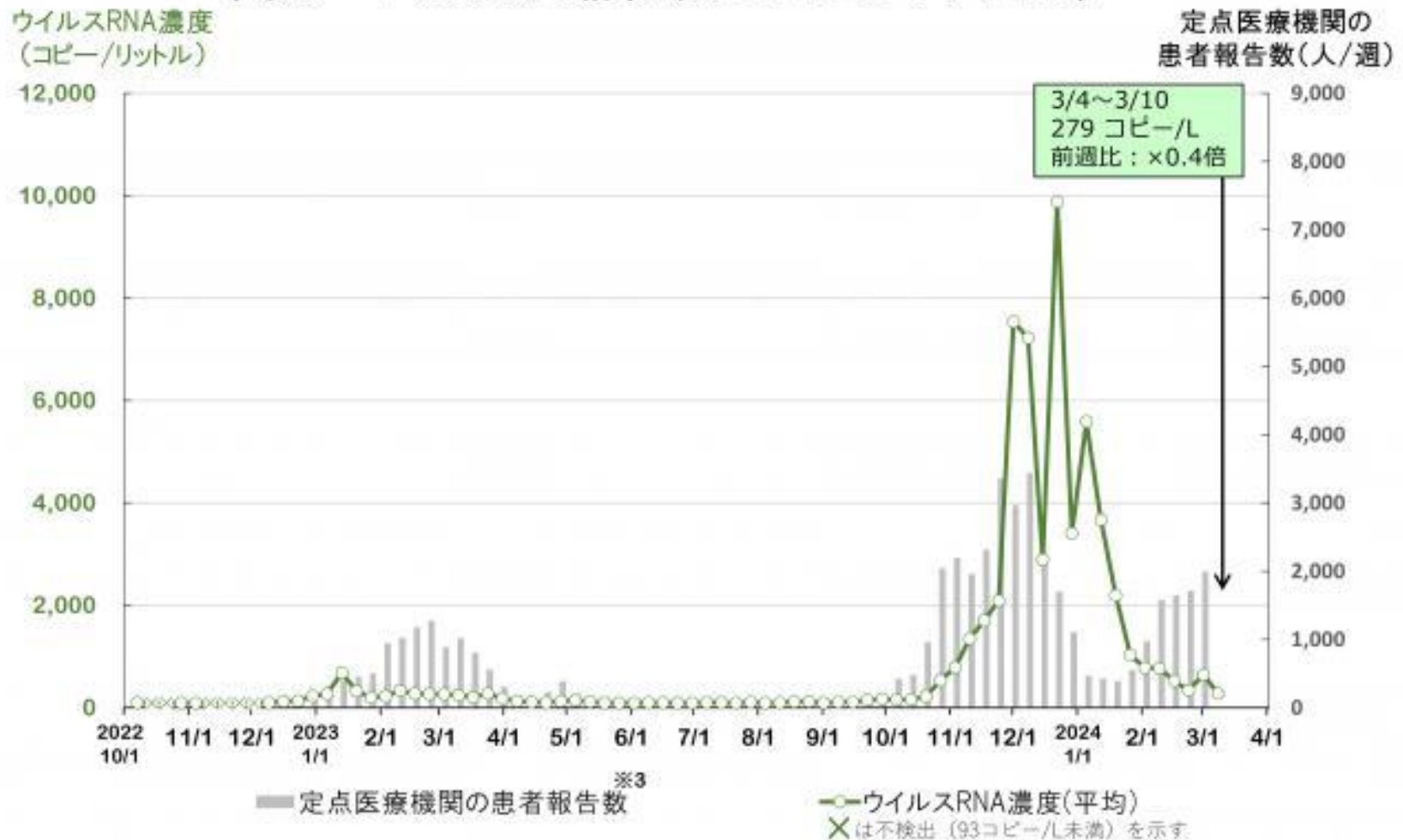
新型コロナウイルス濃度は減少しましたが、高い水準を維持しており、引き続き警戒が必要です。

下水サーベイランスの結果（新型コロナウイルス）



下水中のインフルエンザAウイルス濃度は減少傾向です。
 ※本調査では、インフルエンザA型を分析対象としています。
 縦棒線グラフは、インフルエンザ（A+B）報告数。

下水サーベイランスの結果（インフルエンザウイルス）



昨年9月からの宇部市の下水サーベイランスデータです。発生患者数と下水サーベイランスデータが良好な相関を示しています。

